

# 令和 元年度 宇美町人権問題啓発講演会 アンケート集計結果

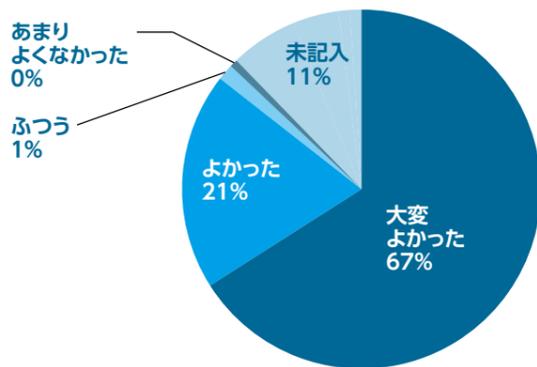
7月6日(土)、宇美町人権問題啓発講演会を開催しました。  
講師に、車いすマラソンアスリートランナーの山本浩之さんを迎え、「あきらめない生き方～夢を持ち続けて～」と題し、バイクの事故による車いすの生活を始めたときから車いすマラソンアスリートランナーとして活躍するまでの体験、障がいを持つ子どもたちとのジュニア陸上教室での様子など、映像を交えてお話していただきました。講演を聴いた方へのアンケートを集計しましたのでご報告します。(集計結果は、町ホームページにも掲載)



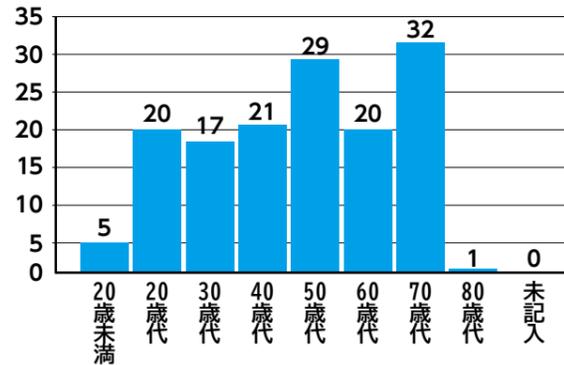
▲講演する山本浩之さん

参加者 200人 / アンケート回収枚数145人

## ■ 今日の講演会はいかがでしたか。



## ■ 年代別参加者数(人)



## 感想 抜粋

20歳代

・山本さんのあきらめない生き方の話を聞き、これからの自分の生き方についても考えることができました。  
・可能性は無限にある事、何事も諦めずに進む事が大切だと思いました。日頃子どもに関わる仕事をしているので、子どもたちに共有して何か感じさせられるようにしたいと思いました。ありがとうございました。

30歳代

・今生きているということが当たり前ではなく尊いことであると改めて感じました。  
・前向きな考え方や、1人では生きていけず、みんなで助け合うことの大切さを考えさせられました。

40歳代

・障がい者スポーツの事や関わっている方のことを知れてよかったです。前向きに生きる心の強さを感じました。会場と一体となりとても良い講演でした。  
・アスリートとしてのお話、車いすを利用されている立場でのお話、とても有意義なものでした。

50歳代

・車いすマラソンの面白さが伝わりました。チャレンジ精神のためものだと思います。  
・日々がんばっていく事の喜びを感じました。ありがとうございました。  
・オリンピック・パラリンピックの気運を盛り上げる素晴らしい講演でした。ありがとうございました。

60歳代

・夢を持ち続けます!  
・とても元気をもらいました。2020年東京パラリンピック目指して頑張ってください。



70歳代

・「人生は、夢をあきらめない生き方」が必要と、高齢者ながら感じました。  
・力強く心にしみる講演でした。がんばってください。ありがとうございました。  
・とても心にしみる思いで楽しかったです。感動、感動です。

## 療育の様子



絵の具の感触を味わいながら色が混ざっていく様子を楽しんでいます。指を使って「ぐるぐる」も始まり、最後は足形も付けて素敵な作品になりました。



「すくすく」には、巧技台・椅子・ビーム(平均台)・滑り台などの遊具があります。さまざまな用途で使用組み合わせ方によって遊びが広がります。「握る」「踏ん張る」「登る」「降りる」「渡る」「飛び降りる」「姿勢保持」など自然と身体作りの基礎となる、全身運動を促します。

専門スタッフがお子さん1人ひとりにあった支援を行います。  
**すくすく  
だより**

## こどもの成長に保護者の喜びの声

3歳の時に「すくすく」を紹介して頂きました。それまでは、言葉が遅いと感じながらも、あまり気にせず、頑固に感じる性格も個性と思い、我が子と向き合っていました。「すくすく」に通いだし、療育を受ける中で、我が子の苦手な事、不安と感じている所、そして得意な事を、先生達と一緒に見つけてその向き合い方をアドバイスして支えて下さいました。今、毎日の沢山の笑顔を見ることが出来るのも「すくすく」と出会えたからだ、感謝の気持ちでいっぱいです。週に一度の「すくすく」での時間が私たち親子の大切な時間です。

ひーママ

4歳の時、保育園の先生に「言葉の遅れが気になります」と言われ「すくすく」を紹介してもらいました。最初の頃はできない事が多かったのですが、先生方がカードや写真を使うなど工夫して下さいのおかげで理解することが増え、できるようになった時は先生方も一緒に喜んでくれました。ほめられることで子どももすごくいきいきしています。親子で通うことで子どもの成長を間近で見ることができ、とても嬉しく思います。

はやママ

3歳児健診で言葉の遅れがあり「すくすく」を勧められました。当時はオウム返しが多く意思の疎通もいまいちでした。「すくすく」でたくさんの経験をさせてもらい親が気付かなかった部分にも気付いてもらい、アドバイスをもらっています。子どもの様子を身近で見ることができ、親も学び、一緒に成長できます。今では、言葉がよく出るようになりました。「すくすく」に出会えて感謝しています。

れいじママ

3歳で自閉症と診断され、「集団療育」に通っています。通い始めは、ずっと走り回りおやつもひっくり返し、親子で辛い時期でした。先生方の励ましと根気のある指導のおかげで、少しずつ親子の肩の力が抜けて、療育の時間を楽しめるようになりました。そうしていくうちに、言葉もできるようになりました。子どもも自信を持って取り組む姿が増えました。子どもとの関わり方のヒントをたくさんもらっています。

のりっこママ

療育センター「すくすく」では個別相談や個別療育も行っています。

問 こども療育センター「すくすく」(貴船2-40-2)

☎934-3933 (宇美町福祉巡回バス ハビネス号「すくすく前」下車)

～お子さんの成長で気になる事は「すくすく」へお気軽にご相談ください～

問 社会教育課 社会教育係 ☎933-2600